

気ままにのんびりさんぽ旅



がら、空飛ぶ大きな機体のすばらしさみたいなものを感じつつ。
まだまだ今日は始まつばかり。

茨城空港を出て10分程歩けば、道の駅ならぬ「空のえき」に着いた。ここで楽しみにしていたのは、しぶりたての生乳を使ったドリンクヨーグルト。酪農が盛んな小美玉ならではの本格的な味わいを楽しむ。サークル型の大きな広場では公園みたいに遊具が設置されていて、子供たちが元気いっぱいはしゃぎ、地元の特産物が並ぶ直売所は多くの人で賑わう。ほっこりとした小美玉の休日の1コマがそこにはあった。

できるだけ時間をかけて散歩をしてみようと思った。茨城の真ん中にあるこの町は空を通じて他どつながっている場所。歩いていると時折聞こえてくる轟音。耳に届くはつきりとした離着陸の音がその近さを表している。早速空港内へ入りたいところだけど、ちょっと寄り道。あちらの方で小さな男子とその父親らしき人が何やら楽しそうにしているのが見えたので。行ってみるとそこには役目を終えた立派な戦闘機が翼を休めていた。戦闘機って初めて近くで見たけど、こんな表情のノーズアートがかっこいい。彼らを囲むように一回りしたあと、空港内の滑走路を見渡せる展望デッキへと向かった。

開放感に満ちた広大な滑走路の奥に見える建物が百里基地なんだろう。すぐ目の前に止まっている飛行機にはタラップが接続され、お客様が次々と乗り込んでいる。いいなあ、みんなどこへ行くのかなあ・・・。せっかくなので自分もそのつもりで、飛び立つ飛行機を見送ることに。タラップが離れ、ライトの時。滑走路を駆け抜け、あつという間に飛行機が空へと吸い込まれていく。それまで飛行機に釘付けだった他のギャラリーたちも、徐々に散り散りになつていった。なんとなくひと息つきたくなつたのでデッキ側のカフェでひと休みすることに。カフェュラテの甘さにほつとしながら、空飛ぶ大きな機体のすばらしさみたいなものを感じつつ。